

資料 4

市民後見人養成講座 実践編 (案)

目的・・初級編・基礎編・実践編共通

誰もが安心して暮らし続けられるように、地域における支えあい、地域共生社会の実現の観点から、同じ市民としての身近な観点でご本人を支援したり、見守ったりする地域に根ざした幅広い権利擁護の担い手を養成することと、市民に権利擁護について知ってもらうことを目的として養成講座を開催する。

○開催時期：令和9年2月（2年に1回開催）

2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月の7回に分けて開催

○参加条件：基礎編修了者（3開催以内）それ以降は、再度基礎編の受講が必要

○研修期間：7日間（実研修時間30時間＋レポート）

○研修場所：集合研修が基本だが、欠席者には期間内のオンデマンド受講（2回まで）

体験実習や、課題演習などは対面研修のみ

南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」大研修室1・2

○受講者数：10名から30名 市民後見人養成講座 基礎編 修了者

○告知方法：市民後見人養成講座 基礎編修了者（該当者）への個別告知（郵送）

○募集方法：案内文に同封している参加申込書

FAX、郵送、持ち込みで受け付けて、締切後に参加者には個別通知

○研修費用：無料

○研修特典：修了者の中でテスト（レポート）、面談合格者は、市民後見人候補者名簿登録、法人後見支援員名簿登録が可能。

○市民後見人名簿登録者

- ・市を支援機関とする市民後見人として、家庭裁判所から選任されれば後見人として活動。

○法人後見支援員

- ・社会福祉協議会が法人として家庭裁判所から受任する、法人後見支援員として活動。
- ・今後、社会福祉法人などの法人後見が開始された場合、市に依頼があれば支援員として名簿登録も検討。

養成講座実践編 ・・地域に根ざした権利擁護の担い手としての技能を学ぶ

7日受講 30単位/1800分 レポート3回

事前課題

○志望動機書（エントリーシート）

1日目・・4単位/240分

○オリエンテーション

進行：中核機関担当者

○成年後見制度の基礎

- ・N06 成年後見制度概論（1.5単位/90分）
講師：司法書士
- ・N07 成年後見制度各論Ⅰ 法定後見制度（1単位/60分）
講師：司法書士
- ・N08 成年後見制度各論Ⅱ 任意後見制度（0.5単位/30分）
講師：司法書士

○市民後見活動の実際

- ・N022 現役市民後見人による実践報告（1単位/60分）
講師：南丹市市民後見人

2日目・・4.5単位/270分

○民法の基礎

- ・N010 家族法（1単位/60分）
講師：弁護士

- No11 財産法 (1 単位/60 分)

講師：弁護士

○対人援助の基礎

- N023 対人援助の基礎 (2.5 単位/150 分)

講師：社会福祉系学識経験者

3 日目・・4 単位 240 分

○成年後見の実務

- N028 成年後見の実務 (4 単位/240 分)

講師：専門職後見人 又は 中核期間担当者

4 日目・・4.5 単位/270 分

○成年後見の実務

- N028 後見事務終了と死後事務 (1 単位/60 分)

講師：専門職後見人 又は 中核期間担当者実務

○意思決定支援

- No2 意思決定支援 (2 単位/120 分)

講師：中核機関担当者又は、後見人等を対象とした意思決定支援研修の指導者

○家庭裁判所の役割

- No27 家庭裁判所の実際 (1.5 単位/90 分)

講師：家庭裁判所書記官

5 日目・・3 単位 180 分

○体験実習

- N024 体験実習についての留意点 (0.5 単位/30 分)

進行：中核機関担当者

- N025 (市民) 後見人の活動体験 (2.5 単位/150 分)

協力：後見人等

○体験実習後課題・・レポート作成①

- 体験実習の報告書作成 (1 単位)

6 日目・・5 単位 300 分

○体験実習

- ・No26 施設実習（5 単位/300 分）

協力：高齢者施設、障害者施設

○体験実習後課題・・レポート作成②

- ・体験実習の報告書作成（1 単位）

7 日目・・5 単位/300 分

○課題演習

- ・No29 事例報告と検討（5 単位/300 分）

講師：専門職後見人 又は 中核機関担当者

研修終了後課題

○レポート作成③

- ・市民後見人像（1 単位/60 分）

講座次第（案）

1 日目・・2 月

1：開会

2：オリエンテーション

3：成年後見制度概論（90 分）

- ・成年後見制度化の背景について
- ・成年後見制度の目的と基本理念について
- ・制度活用の必要性と今後の課題について

4：成年後見制度各論Ⅰ 法定後見制度（60 分）

- ・類型の違いについて（後見・保佐・補助）
- ・後見人の実務について（財産管理・身上保護）

5：成年後見制度各論Ⅱ 任意後見制度（30 分）

- ・制度の概要について
- ・任意後見契約と関連契約について

6：現役市民後見人による実践報告（60 分）

- ・市民後見人の受任形態
- ・市民後見人による実践報告

7：閉会

2日目…3月

- 1：開会
- 2：民法の基礎 家族法（60分）
 - ・家族法の基礎知識と成年後見制度との関係
 - ・遺言・相続について
- 3：民法の基礎 財産法（60分）
 - ・財産法の基礎知識と成年後見制度との関係
 - ・様々な契約行為の法的な解釈について
- 4：対人援助の基礎（150分）
 - ・市民後見人の活動と対人援助の接点
 - ・対人援助の基本的座視
 - ・対人援助のコミュニケーション技術を学ぶ（演習）
- 5：閉会

3日目…4月

- 1：開会
- 2：成年後見の実務（240分）
 - ・受任から終了までの流れ
 - ・市民後見人の実務の流れ
 - ・家庭裁判報告書類の作成の流れ（演習）
- 3：閉会

4日目…5月

- 1：開会
- 2：成年後見の事務終了と死後事務（60分）
 - ・死後事務について
 - ・後見事務終了について
 - ・財産の引継ぎと終結について
- 3：意思決定支援（120分）
 - ・意思決定支援をふまえた後見実務について（演習）
- 4：家庭裁判所の実際（90分）
 - ・家庭裁判所について
 - ・家庭裁判所で行われる手続きについて
 - ・後見人の活動における家庭裁判所の役割
- 5：閉会

5日目‥6月

- 1：開会
- 2：体験実習についての留意点（30分）
 - ・体験実習についての注意点について
- 3：（市民）後見人の活動体験（150分）
 - ・後見人の実際の活動への同行（実習）
 - ・同行訪問の振り返り
- 5：閉会

体験実習後課題・・レポート作成①

- ・体験実習の報告書作成

6日目‥7月

- 1：開会
- 2：施設実習（5単位/300分）
 - ・高齢者施設見学（実習）
 - ・障害者施設見学（実習）
- 5：閉会

体験実習後課題・・レポート作成①

- ・体験実習の報告書作成

7日目‥8月

- 1：開会
- 2：事例報告と検討（300分）
 - ・後見業務の事例から後見業務について学ぶ
 - ・市民後見人としての後見事務や後見計画について事例から学ぶ
 - ・グループワーク
- 3：閉会